

## 札幌市燃料電池自動車普及促進計画（平成29年3月策定）概要

## 計画策定の背景

- ・国では「エネルギー基本計画」（平成26年4月）、「水素・燃料電池戦略ロードマップ」（平成26年6月23日策定、平成28年3月22日改訂）を、北海道では、「北海道水素社会実現戦略ビジョン」（平成28年1月）、「水素サプライチェーン構築ロードマップ」（平成28年7月）を策定し、水素社会形成へ向けた動きが進んでいます。
- ・札幌市では、「札幌市温暖化対策推進計画」（平成27年3月）を策定し、燃料電池自動車（Fuel Cell Vehicle：以下「FCV」という。）の普及に向けた取組の拡大をリーディングプロジェクトに位置づけています。

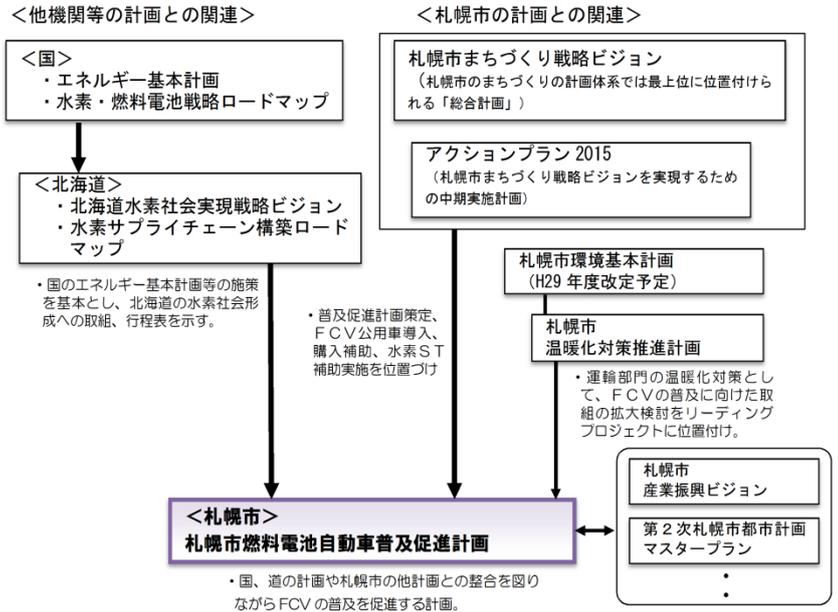


図1 計画の位置づけ

## 計画の目的と位置づけ

本計画は、水素エネルギーに対する市民等の理解促進を図るとともに、早期の水素ステーション（ST）の導入、FCVの普及を促進することで、道内の水素需要を札幌から創出し、拡大することを目的として策定するものです。

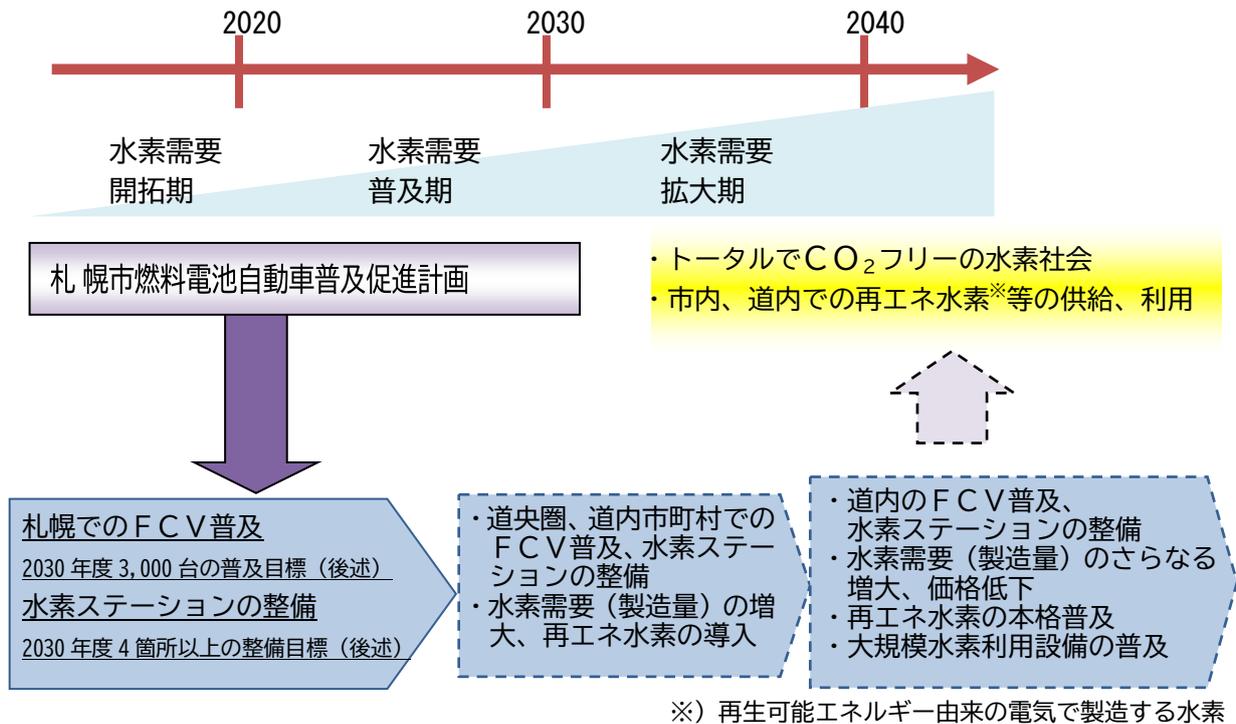


図2 本計画の推進による展開イメージ